



世界遺産アユタヤにて



タイ料理ソムタム

私が留学した DPUIC はとてもいい大学で、多くの素敵な友達を得ることができ、たくさんの思い出を作ることができました。キャンパス内には緑が多く、木の枝にリスが歩いていることもしばしば。日本の大学と違うところは、先生や事務職員と生徒との距離が近いところです。そのため、授業内容や生活面での相談などを気軽に質問することができました。

授業形式は日本の大学とあまり変わりませんが、グループワークやプレゼンテーションをする機会が多かったです。限られた時間の中でメンバーと協力し、一つのものをつくりあげる能力を鍛えることができます。また、友達を増やす機会にもなりました。

タイだからできたたくさんの体験や、仲間との出会いは私の大きな財産となっています。茨城大学、DPUIC のみなさん本当にありがとうございました。

砂糖を振りかけて食べるヌードル？

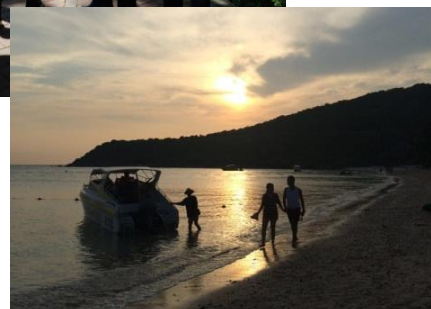
サワディーカ！8月から12月までタイのトゥラキットパ
ンディット大学に留学していた太田日向子です。タイは人も
気候もとてもとてもあたたかい国でした。気候は正直あたた
かいというより暑い。12月にはクリスマスに向けて町にイ
ルミネーションが施されるものの、半そで半ズボン。日本の
冬に慣れている私にはなんとも不思議な光景でした。

このようにタイでは日本とは違うことがたくさんあり、そ
のなかでも特に驚いたことは、朝の8時と夕方6時に国歌が
流れることです。大学内や駅で流れ、その30秒ほどの間国
民みんなが立ち止って王様に敬意を払います。駅でどんなに
急いで歩いてもその瞬間に一斉にザッと動きが止まる
光景はいまでもはっきりと覚えています。

また、辛い物が中心のタイ料理もひじょうに楽しむことが
できました。変わった物も多く、屋台では当然のようにバッ
タや芋虫を売っていたり、辛めのヌードルに自分で砂糖を足
して食べたりする友達を見てカルチャーショック！食文化
って面白いなあと思いました。



自然豊かなキャンパス



パタヤビーチの夕暮れ